

## 同一労働同一賃金への労務対応のご提案

2021年4月1日から、中小企業への「同一労働同一賃金（パートタイム・有期雇用労働法）」の適用が開始となりました。企業が非正規雇用労働者の待遇見直しを進めることが必要となります。この対応においては、これまでの裁判判例や働き方改革法で示されたものを踏まえて検討、実施すべきです。また、コロナ禍により従業員の働く意識・ニーズは大きく変わり、これまでの待遇に関する不満感が高まっている非正規雇用労働者も一部で見られ、こうした問題に配慮した対応も求められます。

従業員から現状不満は出ていないが法的には問題がある待遇差がある、またその逆に、法的な問題はないものの従業員は納得していない待遇差があるのであれば、すぐにも解消を進めていきましょう。

### チェックポイント及び留意点

#### ①基本給

非正規雇用労働者に対して、**昇給、昇格について全く行わない場合は要注意**。待遇差がある場合は、職務内容、職務内容・配置の範囲・その他の事情の具体的な実態に照らして、説明が付くように。

#### ②賞与

一律で非正規雇用労働者に対して支払わない、という場合は**要注意**。「**正社員とパート社員とでは、将来の役割や期待が異なる**」といった説明では、**支払わないことに対する合理的な理由にはならない**。

#### ③役職手当

非正規雇用労働者でも**正社員の役職者と同様の業務内容・責任の職務であれば、同様に役職手当の支給が必要となる**。指導の対象になりやすく、特に**定年退職再雇用者で問題となりやすい**

#### ④通勤手当

通勤のために要した交通費を補填する性質のものであり、**職務内容とは無関係に支給されるものであるため、待遇差がある場合は要注意**。「出勤日に応じて実費を支給する」などの規定で対応。

#### ⑤住宅手当

従業員の住宅に要する費用を補助する趣旨で支給されるもので、**転勤の有無・範囲が異なるかどうか、長期勤務動機づけ、生活保障の必要性**などが考慮される。

#### ⑥福利厚生

慶弔休暇のほか、**各種法定外休暇の付与**。入社時・在職時の**教育訓練、福利厚生施設・サービスの利用**など。待遇差について**明確な説明ができない場合は、解消する必要がある**。

### 同一労働同一賃金 対応の流れ

#### 1 就業規則・社内規定から、待遇状況を一覧化

現状における、正社員・非正規社員の間で生じている待遇差について、どの項目で差が生じているかを確認します

#### 2 生じている待遇差の「不合理性」を判断

生じている待遇差が、「従業員が納得できるものかどうか」「法的に問題があるものかどうか」を判断します

#### 3 問題がある待遇差の解消

不合理な待遇差については、正社員・非正規社員で条件を統一する、各種規定や賃金制度を改正するなど、改善策を実施します

サポートします

**相談費用は無料！**

同一労働同一賃金に対応できる人事制度の導入サポートを行います

- ①待遇状況の整理
- ②待遇差の不合理性チェック
- ③不合理な待遇差の解消
- ④上記に伴う、各種規則の改定

## よくある質問：Q&A

Q1.同一労働同一賃金とは、何をしないといけないの？

A1.同一企業・団体におけるいわゆる正規雇用労働者（無期雇用フルタイム労働者）と非正規雇用労働者（有期雇用労働者、パートタイム労働者、派遣労働者）の間の不合理な待遇差の解消を目指すものです。具体的には、基本給や各種手当などの賃金面、休暇制度や教育などの福利厚生面において、不合理な待遇差が生じている場合は、その是正が求められます。

Q2.具体的に、どのような対応をすれば良い？

A4.厚生労働省が発行している「パートタイム・有期雇用労働法対応のための取組手順書」がありますので、見ていただくと良いでしょう。主には、①雇用形態の確認 ②待遇状況の確認 ③待遇差の確認（待遇差の理由が合理的か・説明できるか） ④不合理な待遇差の解消といった点があります。

Q3.アルバイト・パートの給与を正社員と同じにしないといけない？

A3.今回の施策は、正社員と非正規社員の給与を同一にしないといけない、というものではありません。これは、職務の内容や配置変更の範囲などの要素を考慮して、待遇の決定をする必要がある、という「均衡待遇」の考え方に基づきます。正社員と非正規社員で給与水準が異なる場合は、「不合理な待遇差かどうか」が重要となります。

Q4.正社員の待遇を下げて、アルバイト・パートと同じにしても良い？

A4.解決策の1つではありますが、正社員の方にとっては「不利益変更」になりますので、労使間での合意が必要となります。また、正社員のモチベーションを下げる要因になるなどのリスクも有り、あまり望ましい解決策とは言えません。